

南部地区その他意見（自由記入）

（第二小学校）

①南部地区再編案A・Bではなく、公共交通機関の利用を考えた配置を考えたい。現状は、支会（中学校区）をベースに考えているが、例えば第二小学校に友田から通う場合は、公共交通機関としてバスを使える。その反対の駒木野地区からは、バスで通学ができない。（バスが通っていない）例えば駒木野3丁目の児童を第一小学校に行かせるのは、バスがあるので歩く距離は、少なくともすむ。このように青梅線沿線であれば御岳から青梅駅に電車で行くことができるのももう少し効率的な配置ができるのではないかと。検討して選択肢をひろげてほしい。

③今の青梅の課題が、今回の学校再編を考える会に参加させてもらったことで切に感じる事となりました。

少子化がこれからもっともっと進むことが見込まれているこの青梅を変えていきたいと考える機会になりました。

今後はもっと積極的に子どもたちを守り、増やせていく活動をしていきたいと思えます。

④友田小が来年度も新規入学児が20名を切る予定とのこと。少人数の良さもあるが、トラブルなどがあると人間関係も変わることなく、教職員も決まりきっている中で、6年間過ごすデメリットがある。2中で一緒になるのであれば、早く合併してほしい現保護者意見も結構ある。

⑤小中一貫教育について意見

案では、市として施設一体型小中一貫校を目指していると考えますが、教育課程の一貫性や効率性等（施設活用、人の配置等経済性を含めて）を考えるとそのことは妥当と考える。しかし、施設一体型小中一貫校の施設・校舎・教室・屋内外運動場・プールや教育課程の具体的な内容が示されないと、メリットやデメリットを判断するのは難しい。近隣等にも公立校では、小中一貫校ではなく、効果や課題についてはよく知られていない現状である。一方で既存の学校とは大きく異なってくると考えるので、目指している小中一貫校の施設や教育内容（課程）について具体像を示していただくとともに、成果や課題等を示したうえで、メリットデメリットを問う必要がある。先進的に小中一貫的な教育を進めている区市もあるが、その成果や課題については、一般には十分に伝えられていない状況であり、小中一貫的な教育については是非を議論する材料が十分得られていない状況である。

要は構想している小中一貫校の施設や教育内容について具体的に示していただくとともに、考えられる教育効果等について課題を含めて示していただくことが必要である。

⑥意見なし

(友田小学校)

①スクールバスを検討して欲しい。友田小学校は地域の避難所でもあり、校庭、体育館は地域での利用も可能です。学校再編後にそれらがどうなるのかの計画も示して欲しい。

②2039年を決めて第二小学校と友田小学校の統合、小中一体化を、目指していますが、今の生徒数と2039年の生徒数は、差ほど代わりはないのに統合する必要は無いと思います。

確かに、校舎の建て替えや設備には、高額の経費が必要だと思う。財政を圧迫するでしょう。

それをなんとかするのが、行政の仕事だと思う。

子供たちに皺寄せは、しないでもらいたい。未来の宝を大事にしてほしい小学校統合について地域の皆さんにお聞きした事があります。

自分の母校が無くなるのは寂しいとそれは、誰しもの考えだと思う。しかし、青梅市は、年々子供の出生児が少なくなってきていて、年間約500人程度、このままだと今の小学校の数で全校1クラスになり、生徒数32人になってしまいます。地域によっては一人も入学しない学校も出てくるでしょう、そうなる前に、手を打つ必要があると思います。それならば、もっと地域の皆さんと話し合いを持って誠意を伝えて下さい。

③南部地区再編案A・B共に共通して言える事は、友田に住む児童にしたら、距離があり過ぎる。

実際に歩いてみた時間ではなく、想定、推定した時間で算出してるのはおかしい。

友田に住んでいる児童や親御さんにもっと寄り添った案を出すべきだと思う。

小1と小6の歩くスピードも違う、大量の荷物を持って2小までの距離を往復する事を考えたら、もっと現実的な案を出すべき。

公共機関は時間通りに来ないことが多々あり、道路状況、交通状況を考え、児童と親御さんの負担を考えたら登下校時にスクールバスを準備するという方向での話し合いが必須だと思う。

吉野街道は大型ダンプが頻繁に行き来し、歩道もない場所が多々あり、工事も頻繁に行われている。

吉野街道から1本裏の道に入ると、信号なし、横断歩道なしの箇所しかなく、車が猛スピードで裏道として使用してる事から、登校距離が伸びる事で事故率が高くなる。

まずは学校再編する前に、児童が安全に学校へ通える為の環境作りをして、整ってから遠距離で通う児童と親御さんの為の得策案を捻出してからの再編を行うべきだと思います。

今出ている内容はあまりにも保護者、児童、地域住民の事を考えていない、一方的な案だなと感じました。

④友田小を残す方向で再度改善策を考えていただきたい

⑤友田地域からの通学が、これまでに比べ遠くなり、負担も大きいので、可能であればできるだけ長く存続してほしい

⑤存続が難しい場合は、通学の安全の為にも、スクールバスを運行するなどの対応があると助かります。

⑤特別支援学級の対応がどのようになっていくのかが心配です。

(第二中学校)

- ①大枠では将来図から見て方向づけは理解はできるも、細部にわたり考えると小生の持っている知識では回答は的を得ていないと思う。建物の老朽化→建て替えなければ学校の存続はなし。そこに加えて生徒数の減少と小中の教育の在り方を考えた場合は、南部地区再編案A・Bになることは理解できる。青梅市は南部地区以外も地区の課題が多いと思う。是非、理解を得た学校再編政策を推進頂くよう切に思う。
- ②人口減少、高齢化、少子化とマイナスイメージ、子育て、公共交通、買物、安心度、青梅での暮らしやすさを進め住みたくなる街づくりをお願いします。
- ④国・都のあらゆる補助金、交付金の活用に務める。
- ④市の責任による、通学に対するスクールバス等手段を確保する
- ④より一層、地域との連携に務める
- ⑥交通手段に課題があるが、教育委員会としてスクールバスを導入するなどの対応が必要+始業時間も検討できるといい
- ⑥統合することでの伝統やその学校の文化をどう引き継ぐか
- ⑥特別支援学級や通級学級についても検討する必要がある
- ⑥建物の老朽化があるが、できる限り友田小と少しでも残せるとよい
- ⑦南部地区再編案(資料2)の地区内児童・生徒数の推移数は2024年度設定した数値。2025年度実績に修正していないのは何故か。
統合検討時期はいつまでか?また、統合はいつから開始か?両期限は決めているか。